

農協だより

2021. 4月
No.598

たいさ



宇都宮賞受賞
2ページ



農業塾
海外視察研修
4~5ページ

宇都宮賞受賞!

振別農事組合穀内和夫さん

3月1日、札幌パークホテルにおいて関係者約50人の出席の下、第53回宇都宮賞表彰式が行われ、「酪農經營部」「酪農指導部」「乳牛改良の部」の3部門3名の方の表彰があり、「乳牛改良の部」で穀内

和夫氏（振別農事組合・株工ンブレム－K代表取締役社長）が受賞した。

開会に当たりあいさつした瀧澤理事長は、1968年の第1回以降、これまで155の個人・法人の表彰をしてき

たことに触れ、

道内外の関係機

関や団体、酪農

家らに謝意を示

した。受賞した

3人には栄誉を

たたえるとともに

に、同席した夫

人にもねぎらい

の言葉を掛けた。

受賞のあいさ

つで穀内氏は「歴

史と名誉のある

宇都宮賞を受け

ることは私自身

予想しないこと

で、驚きであり

重く受け止めて

いた」と述べた。

穀内は、受賞した上で、「就農当時から牛群は乳量1万kg、生涯乳量10万kg、体格審査ではエクセレント、共進会は全道・全国共進会などを目指し、『継続は力なり』の思いで乳牛改良に取り組んできた。共進会や体型審査はなかなか経済に結び付かないが、精神的に励みになる。牛舎の中に良い牛が1頭いると、日々の作業に張りが出てくる。これからも高体型で長持ちする牛群を目指していきたい」と決意を述べた。



受賞のあいさつをする穀内さん



写真中央受賞の穀内和夫さん

穀内和夫氏は、帯広農業高校を卒業後、福屋茂見牧場（恵庭市）で実習し、1976年に就農。草地改良や乳

器と肢蹄にこだわった牛群検定、体格審査に積極的に取り組み、早くから受精卵移植や性選別済み精液を活用し

た。牛群検定成績（2019年）は、経産牛155頭で平均乳量1万kg、乳脂肪率3・91%、乳たんぱく質率3・41%、無脂固形分率8・96%の高能力。体格審査ではエクセレント級1頭、ベリーグッド級21頭、グッドクラス級45頭を保有する。これまでにエクセ

19年北海道総合畜産共進会でグランプリ・チャンピオンを獲得した「エンブレムK」（スバル）で、セレント91点）。20年12月の体型審査で国内最高レベルの93点を獲得している。

て自家産で、牛群の遺伝評価である耐久性成分は全国トップであり、長寿連産性に富んだ牛群を作出している。代表牛は得した「エンブレムK」（スバル）で、セレント91点）。20年12月の体型審査で国内最高レベルの93点を獲得している。



左より高松副部長、半谷部長、阿部副部長

青年部では、新型コロナウイルス感染症の影響により、計画通り事業ができないことから、部員の方々に楽しんで頂ける企画を検討し、大樹産の農産物を原料としたビールを製造した。

ビールは、高松佑樹副部長の知り合いである札幌市の澄川麦酒製造所に製造を依頼し、各部員に1本用意した。

原料には、小麦と馬鈴薯の「イン力のひとみ」を使用している。残念

ながら今年度の青年部活性化事業で作付したホップを使用することはできなかつたが、今後は新たな原料も含め活用できないか検討する。

ビールは小麦を使つたベルシャンホワイトで、口当たりはトロピカルかつつスッキリとしているが、後味にほんのり芋焼酎のような香りが楽しめるアルコール5%のビールとなつた。

また、部員に配布した瓶にはられたラベルは高松副部長の知人が作成し、高松副部長が張り付けた。

部員の評判がよければ、来年度も製造を検討する。今後も興味をもつていただける活動を企画し、多くの部員がより青年部活動について積極的に参加していただければと思う。



部員に配られた瓶ビール

青年部

青年部活性化事業

青年部

青年部学習会



挨拶する半谷部長

2月18日JJA会議室において学習会を開催した。

当日は8名の部員が参加の下、農林水産省北海道農政事務所帯広地域拠点の吉村氏、志鎌氏、梅木氏を講師に「食料・農業・農村基本計画」や畜産環境をめぐる情勢、補助事業について説明を受け、今後の営農について意見交換した。

意見交換では、青年部員より家畜排せつ物に係る環境問題や輸出実現目標、加工原料乳の生産者補給金、補助事業に関する要望について多くの意見があり、当初予定した時間を過ぎるほど活発な意見交換の場となつた。



学習会の様子



意見を述べる部員

JA天樹町 農業塾

海外農業視察研修

終わりに

まずは参加者12名が何事もなく海外視察研修を終えたことをご報告いたします。視察先については、各担当が充実した研修内容を報告し



イーデンパークにて



ラム肉のディナー



日本人にも合う味付けでした



スカイスクリーマーの発射前



飛び立った搭乗者



誕生日を迎えた半谷さん



ハカのステージイベント参加者

ていますので、視察以外について少し書かせていただきま

す。

ニュージーランドに到着し、オーバークランド市内のホテルに向かう途中に、ラグビー関係の施設に立ち寄りました。ラ

グビーの試合会場となるイーデンパークはオールブラックスのホームグラウンドで収容人数5万人の最大規模のスタジアムでした。残念ながら中に入ることはできませんでしたが、ラグビーの聖地を肌で感じることができました。ホテルか

くると絶叫しながら回転していました。挑戦者は事前に説明を受けサインをしている事から、見守っている側は、ただただ無事を祈るばかりでした。

ワイカト地方にあるワイモ鍾乳洞では、グローワームと呼ばれる土ボタル（ハエの幼虫）の幻想的な光を鑑賞しました。ひんやりとした洞窟内に流れる川をボートで進み、宿泊先として訪れたロトルア地方のホテルでは、マオリ族によるハカを楽しみました。ハカとはラグビーのニュージーランド代表が相手を威嚇し自

洞窟内にあらわれる他に類を見ない青白い色の光は、ジブリ映画の「天空の城ラピュタ」の光輝く飛行石のモデルになつたとも言われ、見る人たちを魅了していました。残念ながら光や音に神経質であり、刺激があると光のをやめてしまつた撮影はできませんでしたが、大切な思い出となりました。



タイトモ鍾乳洞

らを鼓舞するパフォーマンスで、目の前で見る舌をだし相手を挑発する迫力を楽しみました。また、参加者の半谷勇人さんの誕生日であつたため、サプライズで用意されたケーキと他の海外旅行者の方々とともに歌われたバースデイソングは、素敵な思い出になつたことと想います。

飛行機で南島に移動し訪れたテカポ湖は、ミルキー・ブルーと称され、ミルクを溶かしたような特徴のある青みがかった乳白色をしていました。

これは氷河が削つた岩石成分が含まっているからだそうです。



鍾乳洞の展示写真

また、「善き羊飼いの教会」と呼ばれる石造りの教会も有名で、メルヘンな外観をバツクに記念写真を撮りました。

最終日、乗り継ぎで訪れたオーストラリアのシドニーは、あいにくの雨となりました。ここ



テカポ湖にて

ことなく、学んだ技術を工夫しながら経営に取り入れると

感じたことは、既成概念にとらわれる



善き羊飼いの教会で集合写真

雨、だつたようです。その中、オペラハウスや世界3大美港のハーバーブリッジ、屋内動物園を観光しました。今回の研修では、農業塾で築いた絆がより強くなり、共に過ごした時間は一生の思い出になることと思います。日本では見ることのできない営農方法や考え方を

真っ只中だつたので、恵の雨、だつたようです。その中、オペラハウスや世界3大美港のハーバーブリッジ、屋内動物園を観光しました。今回の研修では、農業塾で築いた絆がより強くなり、共に過ごした時間は一生の思い出になることと思います。日本では見ることのできない営農方法や考え方を



シドニーの乳製品売場



シドニーの屋内動物園



帰りの空港にて疲れ切った参加者たち

思ひます。

最後になりますが、今回の視察研修に当たつて、多大なご支援・ご協力いただきまし

た関係各位の皆様には大変感謝しております。この研修を共にした参加者全員が充実した時間を過ごすことができ、研修での気付きを自己成長に繋げられればと思います。ありがとうございました。

担当：若宮 隼人

第6回

農業経営/ON/OFF

「資材・燃油関係の世界動向と物流」と 「事業継承・経営移譲について」



燃油講義の様子

2月10日、JA大樹町において、11名の受講生が出席の下、第6回農業経営塾を行った。

午前の部は、ホクレン帯広支所中島実桜氏、燃料課三津田課長を講師に「資材・燃油関係の世界動向と物流」をテーマとした講義を行った。

講義では、ホクレンのコスト低減の取組や肥料共同計算の仕組み、予約購買について説明を受けた。燃油関係では、世界三大石油市場の一つであるTOCOM（東京工業品取引

所）や原油価格の上げ要因について説明を受けた。

午後の部は、竹川会計事務所代表社員竹川博之氏を講師に「事業継承・経営移譲について」をテーマとした講義を行った。

講義では、関係者がよいコミュニケーションを図ることが円滑な事業継承につながることや贈与税と相続税の税率比較、贈与による節税等について説明があった。



経営移譲講義の様子

介護ハンドブック

介護者メンタルケア協会代表・橋中今日子

「うちはまだ元気だから」が一番危ない

初めまして。介護者メンタルケア協会代表の橋中今日子です。私は、26年前にがんの父をみとった後、大正生まれで認知症になつた祖母、度重なる病で寝たきりになつた母、知的障害の弟の家族3人を20年以上介護してきました。その経験から、介護トラブルの具体的な対処法と、介護で心が折れないヒントをお伝えします。

■介護の話題は切り出しにくい

日本は、大介護時代に突入しました。団塊の世代が後期高齢者となり、「誰もが介護を受け、介護する時代」になつたのです。とはいっても、介護が必要になるなんて、縁起でもない！考へたくない！」。それが正直なお気持ちでしょう。実際に、講演会や企業研修などでも「幸いなことに、両親共に今は元気だから」と話す人はとても多いのです。しかし介護は突然やつて来ます。

経験上「うちはまだ元気だから」とお話しされた方の半数以上が、3年以内になんらかの介護トラブルに遭遇しています。私が主催する介護講座に、社内研修の一環として参加された方から、「講座の翌日に父が脳梗塞で倒れました。まさか自分が当

事者になるなんて」という報告を受けたこともあります。

■介護に備える最初の一歩

私が、家族3人の介護を20年以上続けられたのは、介護保険サービスをフル活用したからです。介護のトラブルは予想外の出来事がたくさん起きますが、ケアマネジャーや介護事業所の職員、行政の方々に相談しながら乗り越えてきました。

「ある日突然訪れる介護」のためには、お住まいの市区町村のパンフレットを入手することから始めてみましょう。介護保険の申請方法や介護保険サービスの一覧が、分かりやすくまとめられています。「20年前にもこれががあれば、もっと楽だったのに！」と思うほどです。市区町村の窓口、地域包括支援センター、病院、地域の人が集う市民センターなどで入手できます。全て無料ですから、ぜひ活用してくださいね。



酪農場・畜産農場における防対策

～牛サルモネラ症を中心とした伝染病対策（最終回：病原体に負けない体づくり）～

今回は、牛がしっかりと体力をつけ、免疫力を高めて、健康に過ごしてもらうための牛舎環境の一例についてまとめています。病原体に打ち勝つ体をつくるためには、どの牛も「おいしい空気が吸えて」、「ゆったりと食を食べられて」、「ゆったりと休める」環境づくりを行うことが大切です。



JAグループ通信

JA北海道中央会



JAグループ北海道は、他に本業を持つ人や主婦、学生などが気軽に農業に参加できる機会を創出することを目指した取り組み「パラレルノーカー」を、春からの農業繁忙期に向けて、本格始動いたします。本格始動に際し、北海道出身で「モーニング娘。OG」藤本美貴さんを起用したTV CM「パラレルノーカーはじまっています篇」を北海道限定でオンエアしております。東京でタレント活動を行なながら、3児の母親でもある藤本美貴さんが、広大な北海道の土地でパラレルノーカーとして農業体験を行う様子を収めたCMとなっております。また、TV CMソングには、北海道出身の人気ロックバンド「GLAY」の「はじまりのうた」を起用しております。なお、TV CMはJA北海道中央会の公式YouTubeチャンネルでも公開しておりますので、是非ご覧ください。

○パラレルノーカー特設WEBサイト
<https://ja-dosanko.jp/parallelnoker/>



JA北海道信連



令和3年1月から、HBCラジオとタイアップして、「野菜が出来るまでの手間ひまと収穫の楽しみ」を自宅で子どもと一緒に体験する『おウチで野菜栽培チャレンジ!』を始めました。参加者に事前に送付した栽培体験キットを使って、ガーデンレタスやラディッシュの栽培を体験してもらっています。ラジオ番組内に3月までオリジナルコーナーを設ける等、生育状況の紹介やJA青年部からのアドバイスも行っています。



ホクレン



ホクレンは、農薬散布用ドローンの導入を検討する際に役立つ基礎的な情報をまとめたリーフレットを作成しました。主な機種の仕様や特徴、空中散布の流れ、法令・ルールなどをコンパクトにまとめています。水稻・畑作地帯の会員JAを中心に配布したほか、「ホクレンインフォメーション」(<https://hokuren-news.jp/>)サイトの関連記事中からPDFファイルをダウンロードすることもできます。



JAグループ北海道の連合会の活動内容を紹介します。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

JA共済連北海道



JA共済では、『「こども共済」資料請求キャンペーン』を実施しております。JA共済ホームページから「こども共済」の資料をご請求いただいた方に、『JA共済オリジナル アンパンマンお食事エプロン』をプレゼントしております。キャンペーンは令和3年3月26日(金)までで、先着60,000名様限定となっております。この機会にJA共済のホームページにアクセスいただけますようお待ちしております！

JA共済ホームページアドレス
<https://www.ja-kyosai.or.jp/>



JA北海道厚生連



本会では、組合員ならびに地域住民の皆様への情報発信の場として、公式Twitterの開設、運用を行っております。今月は特別養護老人ホームところで行われた節分行事の様子と、本会広報誌「すまいる」第73号発行に関しての情報をご案内いたしました。

今後とも皆様へ有益な情報を発信できるよう努めてまいりますので、下記QRコードより当アカウントのフォロー登録を宜しくお願ひいたします。



大地がひとを強くする。

AGRIACTION!
HOKKAIDO



高齢者の自動車運転



わが国では、75歳以上の人々の3割以上が運転免許証を保有し、特に農業従事者では、自家用車やトラクターなどの運転をする高齢者も多いと思われます。しかし、自動車運転に必要な能力は加齢により変化します。運転の技能は個人差が大きく、また、加齢による変化にも個人差があります。さらに、加齢による変化は通常は徐々に出現するため、本人は自覚しにくいことがあります。

自動車は、便利な乗り物ですが、使い方によっては人の命を奪う「走る凶器」にもなります。ですから、運転の可否の判断を本人の希望だけに任せるのは心配されます。運転は、目的地までの経路を考

え、周囲の様子を目や耳から的情報で察知し、さまざまな判断をします。走行中は前方を見ながら、バックミラーで後方の状況を確認。同時に速度などの計器類を見ます。状況に合わせアクセルやブレーキを踏みながらハンドル操作をします。こう

した運転に必要な瞬時の判断と複合的な動作が、高齢者は苦手です。視力低下や視野の狭窄（きょうさく）、聴力低下、記憶力低下、判断力の低下、筋力低下、四肢の感覚が鈍くなるなど、さまざまな能力が加齢によって低下します。高齢になると心臓病、高血圧や血糖値異常などの病気を有する人も増えます。そのため、頭がボートとする、目まいがする、イライラする、眠くなるなどが運転中に出現すれば、交通違反や事故の危険も増すわけです。

高齢者の運転は、悪天候の日や体調不良の日は避け、慣れた道だけを走り、車選びも格好良さより、運転しやすさと安全性で選んでください。そして、運転時に危険を感じるようになつたり、同乗した家族や仲間から「運転は危ない」と忠告されたら、早めに運転免許を返上する勇気も大切です。

え、周囲の様子を目や耳から的情報で察知し、さまざまな判断をします。走行中は前方を見ながら、バックミラーで後方の状況を確認。同時に速度などの計器類を見ます。状況に合わせアクセルやブレーキを踏みながらハンドル操作をします。こうした運転に必要な瞬時の判断と複合的な動作が、高齢者は苦手です。視力低下や視野の狭窄（きょうさく）、聴力低下、記憶力低下、判断力の低下、筋力低下、四肢の感覚が鈍くなるなど、さまざまな能力が加齢によって低下します。高齢になると心臓病、高血圧や血糖値異常などの病気を有する人も増えます。そのため、頭がボートとする、目まいがする、イライラする、眠くなるなどが運転中に出現すれば、交通違反や事故の危険も増すわけです。

高齢者の運転は、悪天候の日や体

理事会の動き

第14回 2/24

- | | |
|---|--|
| <p>★報告事項</p> <p>1 令和2年度北海道肉用牛経営安定対策補完事業の実施結果について</p> <p>2 十勝酪農畜産対策協議会 第2回全体委員会の報告について</p> <p>3 資金の貸付について</p> <p>4 会計監査人の再任について</p> <p>5 内部監査の結果について</p> <p>6 組合員の異動について</p> <p>7 特別審議委員会の答申について</p> <p>★付議事項</p> <p>第1号 大口信用供与等を超える貸付について</p> <p>第2号 理事に対する組合員勘定取引について</p> <p>★協議事項</p> <p>第1号 固定資産の取得について</p> <p>第2号 協議・承認</p> <p>第3号 協議・承認</p> <p>第4号 出資の持分譲渡について</p> <p>第5号 令和3年度内部監査計画について</p> <p>第6号 令和3年度経営定期点検実施計画の策定について</p> <p>第7号 株式会社大樹貨物への増資について</p> <p>第8号 情報セキュリティ基盤の改正について</p> <p>第9号 年度末賞与の支給について</p> <p>第10号 火災見舞いについて</p> <p>第11号 対策指導農家等の令和3年営農計画書の認定について</p> <p>第12号 信用限度額を超える組合員勘定取引について</p> | <p>協議・承認</p> |
|---|--|

第4号 出資の持分譲渡について

協議・承認

第5号 令和3年度内部監査計画について

協議・承認

第6号 令和3年度経営定期点検実施計画の策定について

協議・承認

第7号 株式会社大樹貨物への増資について

協議・承認

第8号 情報セキュリティ基盤の改正について

協議・承認

第9号 年度末賞与の支給について

協議・承認

第10号 火災見舞いについて

協議・承認

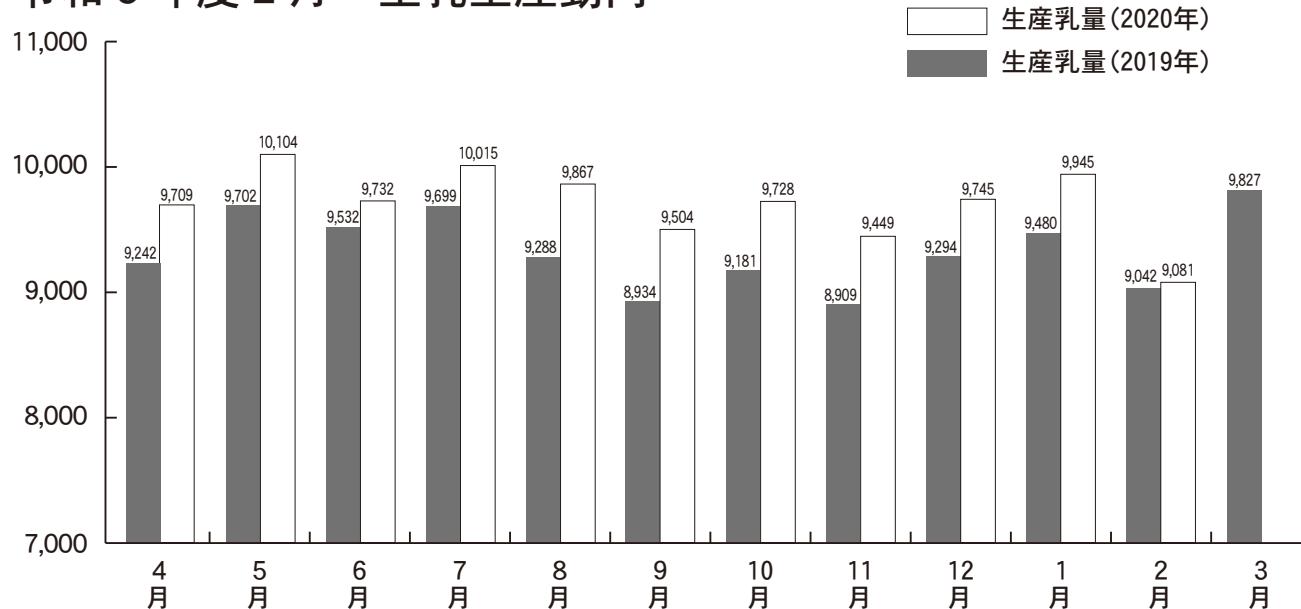
第11号 対策指導農家等の令和3年営農計画書の認定について

協議・承認

第12号 信用限度額を超える組合員勘定取引について

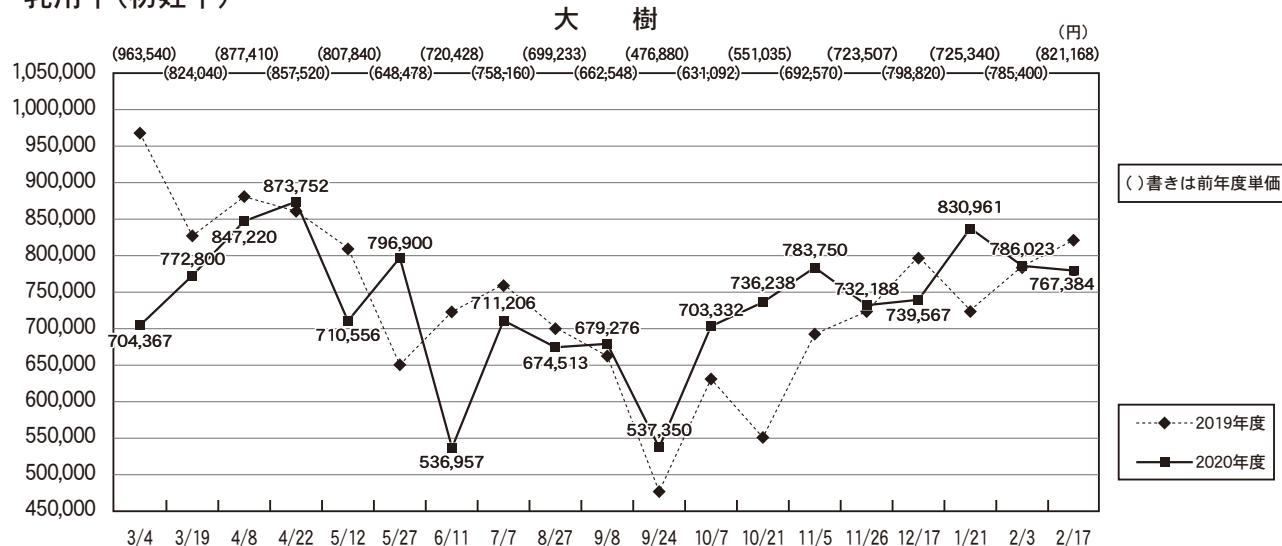
協議・承認

令和3年度2月 生乳生産動向

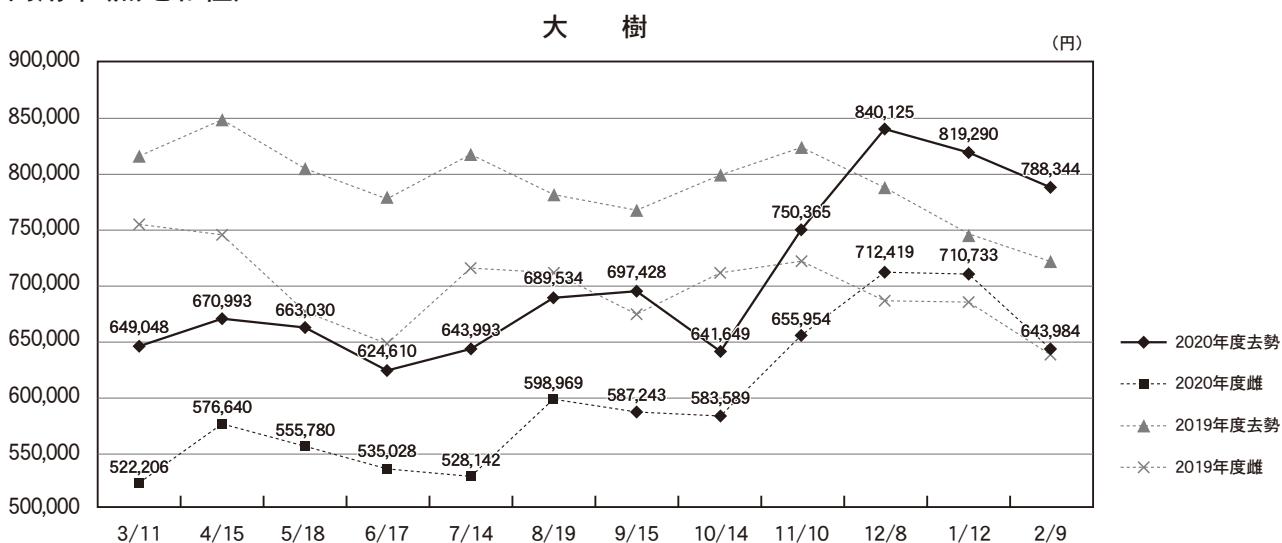


家畜市場の成績

乳用牛(初妊牛)



肉用牛(黒毛和種)



進めよう! 国消国産

進めよう!

こく しょう こく さん
国 消 国 産

【今回のテーマ】

国消国産ってなに?



食料自給率

38%

※2019年度、カロリーベース

世界規模での

災害発生と農業被害

日本の「非常に激しい雨」

ここ30年で

1.4倍

食を取り巻く
リスクが
増えています

平均年齢

平成の30年間で

10歳上がる

国内農業者の減少や
高齢化、農地面積の減少

世界の人口増加に

よる食料需給のひっ迫

2050年の世界の人口予測

97億人



出典:農水省 食料需給表、農林漁センサス、農業構造動態調査／企画庁／国連 世界人口推計2019年版

新型コロナウイルス感染拡大により、マスクの需要が急激に増えました。その大部分を輸入に頼っていたことから、国内は一時深刻なマスク不足に陥りました。もしそれが食料であったらどうなっていたでしょうか。

コロナ禍では、実際にいくつかの国が食料の輸出を制限しました。また、食料不足に陥っても、短期間での食料増産は難しいです。

こうした実態を多くの国民にご理解いただき「食料を生み出す農業・農村を支えたい」と思う人を増やしていくことが必要です。



耕そう、大地と地域のみらい。

イラスト・情報コーナー

イラストは濃くていねいに書いて下さい。
(あまり薄いと掲載出来ないことがあります。)

●●●
角倉 七虹ちゃん(9歳)下大樹
ゆあちゃん(5歳)尾田
細谷 純子さん●●
ひなかちゃん(4歳)振別
ダイさん(27歳)上大樹
たかはし ことはちゃん(8歳)東和
れーなさん(6歳)